

医学部

学部のアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

<求める入学者像>

医学部の基本理念は「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」です。これは、「医療人は生涯にわたって病める人の身になって病苦と取り組み、人々の健康と福祉に貢献する」という精神を含んでいます。この理念に基づき、医学部は医学・看護学の知識や技術を教育するだけでなく、人間の尊厳を重んじる豊かな人間性と幅広い教養を育み、深い洞察力と生命倫理や生命の尊厳に対する深い認識を備えた医療人の育成をめざしています。また、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける態度を身につけるため、少人数による課題探求型の教育にも力を入れています。地域医療を含む日本の保健・医療・福祉に広く貢献できる人材の育成を目指し、一般入試に加えて、学校推薦や自己推薦などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、医学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・理解、思考・判断)

1. 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

(興味・関心・意欲、態度)

2. 人間が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。

3. 医学・医療に対する意欲や関心度が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。

4. 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

(技能・表現)

5. 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、周囲の人と良好な関係を保つことができる。

6. 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

学部のカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

(カリキュラム・ポリシーについてはそれぞれの学科のページをご覧ください。)

学部のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

＜学部の教育理念と教育目的＞

『患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療』という医学部開設の基本理念に基づき、教育目的を次のように定めています。医学部においては、愛媛大学学則及び愛媛大学憲章の趣旨を踏まえ、医学・看護学における専門的知識や優れた技術を授け、深く医学・看護学分野の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を備えた医療人を育成することにより、最良の医療、保健、福祉を通して社会に貢献することを目的としています。

＜学習の到達目標＞

(知識・理解)

- 1-1. 医療人としての専門分野の学問内容について知識を修得している。
- 1-2. 人間性や倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけている。

(思考・判断)

- 2-1. 対象となる人の身体的・心理的・社会的な健康状態を科学的に評価し、情報の総合と適確な判断を行い、必要な行動を示すことができる。

(興味・関心・意欲)

- 3-1. 科学の進歩および社会の医療ニーズの変化に対応して、生涯を通して自らを高めることができる。

(態度)

- 4-1. 患者および住民の健康の維持・増進と健康障害からの回復に寄与するために、医療人として責任をもった行動をとることができる。

(技能・表現)

- 5-1. 基本的な医療行為を患者にも自らにも安全に実施することができる。
- 5-2. 患者・家族や保健・医療・福祉チームのメンバーと良好なコミュニケーションをとり、チームの一員としての役割を果たすことができる。